

計画



小清水町過疎地域自立促進市町村計画の変更

小麦加工処理施設整備事業を追加するものです。

契約



建設機械(除雪グラレーター)交換事業にかかる購入契約の締結

契約先

日本キャタピラー合同会社
北見営業所

▼契約金額 2千997万5千円

此の花橋長寿命化修繕工事にかかる契約の締結

契約先

株式会社 北興

▼契約金額 5千676万円

人事



固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員に次の3氏の選任に同意しました。

▼委員

坂井 晃 氏(再任)
関山 美和 氏(再任)
成戸 明男 氏(新任)

▼任期

自 令和2年7月1日
至 令和5年6月30日

小清水町農業委員会委員の選任

農業委員に次の15氏の選任に同意しました。

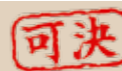
▼委員

小島 睦 氏(新任)
竹内 正宏 氏(再任)
浪岡 弘明 氏(再任)
臼井 崇洋 氏(新任)
佐伯 和彦 氏(再任)
相内 隆男 氏(再任)
須藤 隆司 氏(再任)
佐藤 昌嗣 氏(再任)
今村 昇 氏(再任)
吉田 正貴 氏(再任)
古川 勝喜 氏(新任)
鈴木 清一 氏(再任)
馬淵 泰子 氏(再任)
今城 京子 氏(再任)
渡邊 敦 氏(新任)

▼任期

自 令和2年7月20日
至 令和5年7月19日

令和2年度 補正予算



▶一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6,474万9千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を62億4,583万9千円とするものです。

主な補正内容は次のとおりです。

補正科目	補正額	主な補正内容
総務費	1,433千円	備品購入費など
民生費	551千円	児童手当システム改修業務委託料など
衛生費	38,040千円	新型コロナウイルス感染症対策費など
農林水産業費	145,534千円	畑作構造転換事業費補助金など
商工費	7,247千円	ハイランド小清水725木柵取替工事請負費など
教育費	71,944千円	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業工事請負費など
合計	264,749千円	

一般質問

災害時避難所の新型コロナウイルス対策等について

問①

工藤 孝一 議員



「北海道スタイル」が出され、避難所の収容人数等にも今後制限が出てくるなど、コロナ対策時の災害対応について住民周知が必要ですが、考えをお聞きます。

答①

久保 弘志 町長



避難所における新型コロナウイルス感染症への対応については国の助言もなされ、避難所内においては、発熱や咳などの症状により、

分けた集合スペースやトイレ等の専用スペースの確保が示され、また、災害や被災者の状況によっては、指定避難所以外の施設を避難所として確保することなどございます。

これらの対策をあらかじめ検討し、避難所において必要な感染症対策に関する物品を確保することとしていきます。

また、町民の皆さんに「自らの命は自らが守る」という意識を持っていただき、適切な避難行動がとれるよう、広報等による周知や参加型の防災訓練などの機会を通じて避難行動等の対策について啓発してまいります。

問②

工藤 孝一 議員

分散型避難の検討、福祉避難所の安全性、災害時のさまざまな問題を想定した避難所におけるトイレの対応についても防災計画の中で検討すべきと考えますが、再度考えをお聞きます。

答②

久保 弘志 町長

分散型の防災については、指定避難所は愛ホールとなっておりますが、

災害の種類によって高台にある中学校を使用するなど柔軟に対応したいと考えています。福祉避難所については、愛寿苑の一階スペースの大きな面積を確保していきますし、必要に応じて赤十字病院と連携を取りながら対応できると考えています。

「本気だすぞー放課後学習サポート」事業について

問①

工藤 孝一 議員

中学3年生の数学のみではなく、他の教科、他の学年を対象を広げた事業にすべきと考えますが、所見を伺います。

答①

加藤 友幸 教育長



まず、教科を数学に絞っているのは、数学は小学校の算数から始まり、一年一年の積み重ねが大事で、どこか一つ抜けても理解できずに苦手な科目となってしまつ反面、自分の弱点を解決していくことで苦手意識がなくなり自信がついて、暗記が主な他の教科の学力も向上し、受験においても確実な成果が期待できるとの考えからです。また、中学生の教科は専門教科の免許をもった教員が授業を行います。この事業で他の教科を対象とした場合、現状では講師の確保ができないことや、放課後において行う場合、時間的な制約がありますので他の教科を取り入れるのは難しいものと考えています。次に、他の学年を対象を広げることについては、一つには、講師確保の課題、二つには、生徒には部活動や生徒会活動、校外におけるスポーツ活動や習いごとなどもあり、放課後の時間帯に講習

問②

工藤 孝一 議員

学習の基本的なことで困っていたり、悩んでいる生徒とどのような向き合つかといった教育実践について、教育委員会の考えをお聞きます。

答②

加藤 友幸 教育長

現在、小中学校に各1名の臨時教員と、合わせて7名の支援員を配置するとともに、ALT(外国語指導助手)による英語教育の強化、習熟度別の取り組みによる生徒の能力に応じた教育指導を行っております。学力向上の取り組みではオールオホーツクを合い言葉に道教委、市町村教委、学校が連携して教員の研修事業や公開事業を実施し、また、先進事例も取り入れながら、工夫した取り組みを行っています。